

SLと笑顔に会える富士連区



28. 5. 1 富士連区地域づくり協議会だより 第7号

富士連区地域づくり協議会（富士公民館内 TEL. 24-5125）

ホームページ http://www.orihime.ne.jp/~fuzi_138/



特集 「地域づくり協議会」とは？

富士連区地域づくり協議会がスタートして2年目を迎えました。
今一度「地域づくり協議会」について確認したいと思います。

★何のための会なの？

「富士連区に住んでいてよかった！」と実感できるまちづくりのための会です。



★だれが活動しているの？

富士連区の各団体の役員や経験者が中心になって活動しています。



★どんなことをするの？

- ①一宮市からの交付金の使い道を話し合います。
- ②富士連区の課題を話し合います。
- ③課題解決のための方策を話し合い、各団体に提言します。
話し合う際のポイントは3つです。

◎富士連区は…

- 「安全対策ができてから安心して暮らせる？」
- 「困ったことがあっても助け合っている？」
- 「楽しいことが多いのでやる気になる？」



具体的には次のようなことを話し合っています。

- ☆「敬老会」を魅力ある会にするにはどうしたらよいか。
- ☆「防犯カメラの設置等、地域の防犯対策」を充実させるにはどうしたらよいか。
- ☆「夏まつり」を盛り上げるにはどうしたらよいか。
- ☆「富士連区のホームページ」を立ち上げるにはどうしたらよいか。



※なお、裏面に地域づくり協議会役員「100文字メッセージ」を掲載しました。

☆☆☆ 地域づくり協議会役員100文字メッセージ ☆☆☆

会長 遠藤 慧 (石野町5)



災害等が発生した時、自分で守る『自助』、周りが助ける『共助』、その上で『公助』であるが、日頃から大切になるのが『近所』、即ち日本の良き生活習慣『向こう三軒両隣』である。世代間の交流をはかる一環として、連区ホームページを立ち上げ発信を始めました。

副会長 近藤 重幸 (石野町3)



富士連区を、活性化し魅力ある地域にするためには、各種団体が連携し、真に連区にとって必要な活動は何かを念頭に、住民のみなさんと一緒に活動することが大切です。ぜひ、諸活動に参加いただき、住んでいてよかったと思える地域にしていきましょう。

副会長 二俣 勝美 (浜町5・6 藤塚町3・4)



連区や公民館の主催する行事のマンネリ化を改革するために、各出張所や他連区に出向き参考にして検討しております。地域づくり協議会が発足し各部会に分かれて活動を始めました。皆様が積極的に参加し連区民の絆を深め、住みよい町づくりをめざしています。ご意見・ご要望・提案等をお寄せいただきますよう宜しくお願いします。

書記・会計 高木 正巳 (朝日通2)



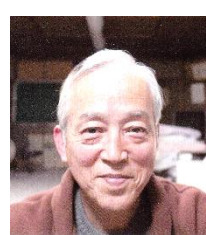
地域活動は人と人との関わり合いで成り立ちます。お互いとの和と、十分なコミュニケーションを心掛け、忌憚ない意見の交換を行い新しい事への挑戦をしていきます。まず何事もやってみて、間違いは、分かった時点で修正する。こんな姿勢で行動します。

安全安心部会長 岸 達也 (赤見1・2)



安全安心部会とは？
地域住民が、安全で安心して暮らせる町づくりを目的としています。
富士連区の皆様、各種団体の皆様と共に防犯・防災・交通安全・資源回収等の活動を推進いたします。
！！みんなでつくろう安全・安心のまち！！

福祉部会長 浜崎 雄一 (花祇通4)



超高齢化社会にすでに入ってきています。
福祉部会の役割は大きく重たいです。
問題の一つ一つに、ていねいに責任をもって対処し、お年寄りをはじめすべての住民が笑顔になるような富士連区にしていきたいと思ひます。

学習部会長 飯田 時雄 (花岡町1・2)



子どもも、高齢者も誰もが笑顔になれる活動の実現をめざしています。
楽しく学べる場、楽しく体験できる場、楽しくふれあえる場を工夫していきたい。特に若い人たちのアイデアを取り入れながら進めていきたいと考えています。

広報部会長 高橋 良和



「富士連区よさの発掘」。
広報部が取材に際して心掛けていることです。
「笑顔」「ご近所さん」「活動あれこれ」「わが町内会」など、富士連区のいいところをたくさん発信していきます。

